

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年11月11日

東

上場会社名 株式会社アドバネクス

上場取引所

コード番号 5998

URL <https://www.advanex.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名） 朝田 英太郎

問合せ先責任者（役職名） 常務取締役CFO（氏名） 吉原 哲也（TEL）03-3822-5865

半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	13,837	4.5	336	160.3	△816	—	△924	—
2024年3月期中間期	13,238	11.4	129	—	502	△15.0	358	57.9

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △466百万円（—%） 2024年3月期中間期 1,037百万円（37.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△225.03	—
2024年3月期中間期	87.18	87.06

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	28,191	7,740	27.4
2024年3月期	28,457	8,289	29.1

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 7,731百万円 2024年3月期 8,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△2.1	300	△18.0	200	△76.0	300	11.6	73.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	4,153,370株	2024年3月期	4,153,370株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	47,076株	2024年3月期	46,761株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	4,106,471株	2024年3月期中間期	4,107,579株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社は日本をはじめ米州、欧州、アジア12か国に事業展開しており、主に自動車、医療、OA、航空機向けに精密ばねをはじめとする金属加工部品を製造・販売しています。

当中間連結会計期間における事業環境は、自動車向けが中国メーカーの台頭や認証不正問題の影響で伸び悩んだもののOA機器向けが好調に推移し、また、欧米を中心に医療ビジネスは順調に拡大を続けています。

このような状況のもと、同期間における売上高は前年同期比4.5%増の138億37百万円、営業利益は同160.3%増の3億36百万円となりました。一方、為替相場の変動に伴う当社及び海外連結子会社の保有する資産・負債の評価替えにより為替差損(10億55百万円)が発生したことなどから経常損失は8億16百万円、親会社株主に帰属する中間純損失は9億24百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 日本

OA機器向けが好調だったことや値上げ効果などから売上高は前年同期比1.8%増の44億58百万円、セグメント利益は55百万円(前年同期は9百万円の損失)となりました。

② 米州

アメリカ工場において医療向け生産が大きく増加したことから売上高は前年同期比18.0%増の25億50百万円となりました。セグメント損失は、アメリカ工場が増益したことなどから23百万円(前年同期は1億63百万円の損失)と大幅に赤字幅を圧縮しました。

③ 欧州

売上高は前年同期比5.4%増の16億18百万円となりましたが、現地通貨ベースでは減収であったことに加え、人件費やエネルギーコストの増加などによりセグメント利益は同74.1%減の18百万円となりました。

④ アジア

OA機器向けが好調だったことなどから売上高は前年同期比0.9%増の52億10百万円、セグメント利益は同21.5%増の2億73百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億66百万円減少し、281億91百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が85百万円増加し、150億62百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が2億32百万円、棚卸資産が39百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が3億17百万円増加したことによるものであります。また、固定資産合計額は3億51百万円減少し、131億29百万円となりました。主に、有形固定資産の減少によるものであります。

(負債)

負債の部においては、負債合計額が204億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億82百万円増加しました。主な理由は、電子記録債務が8億20百万円、流動負債その他が2億30百万円減少しましたが、借入金が12億44百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部においては、純資産合計額が77億40百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億49百万円減少しました。主な理由は、為替相場の変動により為替換算調整勘定が4億95百万円増加しましたが、親会社株主に帰属する中間純損失の発生等により株主資本合計が10億6百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は27.4%(前連結会計年度末は29.1%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比3億14百万円増加し、42億95百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金が4億56百万円減少(前年同期は60百万円の資金増加)しました。

主な収入要因は、減価償却費による資金留保7億91百万円によるものであります。

主な支出要因は、税金等調整前中間純損失による資金減少が7億77百万円及び売上債権の増加による資金減少が4億64百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金が3億67百万円減少(前年同期は25百万円の資金増加)しました。

主な収入要因は、有形固定資産の売却による収入2億83百万円及び定期預金の払戻による収入で4億47百万円によるものであります。

主な支出要因は、当社及び当社グループ会社における設備投資9億37百万円及び関係会社株式の取得による支出40百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金が12億17百万円増加(前年同期は10億13百万円の資金増加)しました。

主な収入要因は、有利子負債の増加14億21百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,225,710	4,992,856
受取手形及び売掛金	4,806,095	5,123,750
商品及び製品	1,960,173	1,953,251
仕掛品	833,902	872,172
原材料及び貯蔵品	1,504,821	1,433,827
その他	677,945	718,079
貸倒引当金	△32,023	△31,642
流動資産合計	14,976,625	15,062,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,307,638	4,092,302
機械装置及び運搬具(純額)	4,726,518	4,146,927
土地	1,715,825	1,566,886
その他(純額)	1,749,459	2,198,017
有形固定資産合計	12,499,441	12,004,133
無形固定資産	183,957	233,541
投資その他の資産	797,921	891,749
固定資産合計	13,481,321	13,129,424
資産合計	28,457,946	28,191,718
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,921,021	2,159,059
電子記録債務	1,578,728	757,785
短期借入金	4,739,303	6,113,859
1年内返済予定の長期借入金	2,480,699	2,965,178
リース債務	229,441	214,878
未払法人税等	109,730	42,321
契約負債	99,674	96,945
賞与引当金	285,753	288,932
その他	1,527,495	1,297,254
流動負債合計	12,971,847	13,936,214
固定負債		
長期借入金	4,544,507	3,930,456
リース債務	1,021,551	882,322
繰延税金負債	364,396	395,292
資産除去債務	56,445	57,414
退職給付に係る負債	1,121,267	1,140,581
その他	88,226	108,880
固定負債合計	7,196,395	6,514,948
負債合計	20,168,243	20,451,163

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,150,000	1,067,759
利益剰余金	5,302,982	4,378,915
自己株式	△79,773	△79,993
株主資本合計	6,473,208	5,466,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,050	△36,018
為替換算調整勘定	1,724,740	2,220,685
退職給付に係る調整累計額	104,210	80,614
その他の包括利益累計額合計	1,807,900	2,265,280
新株予約権	8,594	8,594
純資産合計	8,289,703	7,740,555
負債純資産合計	28,457,946	28,191,718

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	13,238,583	13,837,582
売上原価	10,393,072	10,600,235
売上総利益	2,845,511	3,237,347
販売費及び一般管理費	2,716,350	2,901,130
営業利益	129,160	336,217
営業外収益		
受取利息	20,892	38,308
受取配当金	513	-
受取賃貸料	57,738	60,411
為替差益	488,415	-
補助金収入	3,628	2,110
その他	21,855	30,292
営業外収益合計	593,043	131,122
営業外費用		
支払利息	175,214	187,835
為替差損	-	1,055,944
その他	44,353	40,534
営業外費用合計	219,567	1,284,314
経常利益又は経常損失(△)	502,636	△816,974
特別利益		
固定資産売却益	570	41,173
償却債権取立益	21,196	-
特別利益合計	21,767	41,173
特別損失		
固定資産売却損	1,336	969
固定資産処分損	1,485	594
特別退職金	22,006	-
特別損失合計	24,828	1,563
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	499,574	△777,365
法人税、住民税及び事業税	196,096	113,999
法人税等調整額	△54,620	32,701
法人税等合計	141,475	146,701
中間純利益又は中間純損失(△)	358,099	△924,067
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	358,099	△924,067

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	358,099	△924,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,426	△14,967
為替換算調整勘定	668,250	495,944
退職給付に係る調整額	17,121	△23,596
その他の包括利益合計	678,944	457,379
中間包括利益	1,037,044	△466,687
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,037,044	△466,687

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	499,574	△777,365
減価償却費	800,732	791,022
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,803	518
賞与引当金の増減額(△は減少)	122,657	2,674
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27,993	△60,513
受取利息及び受取配当金	△21,406	△38,308
支払利息	175,214	187,835
為替差損益(△は益)	△476,417	925,627
固定資産売却損益(△は益)	765	△40,203
固定資産処分損益(△は益)	1,485	594
売上債権の増減額(△は増加)	△1,168,433	△464,229
棚卸資産の増減額(△は増加)	139,131	△94,390
仕入債務の増減額(△は減少)	227,449	△387,781
その他	118,756	△106,096
小計	443,699	△60,617
利息及び配当金の受取額	23,685	38,127
利息の支払額	△172,344	△189,167
法人税等の支払額	△234,923	△244,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,115	△456,033
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△266,000	△937,016
有形固定資産の売却による収入	4,717	283,368
無形固定資産の取得による支出	△21,482	△50,705
無形固定資産の売却による収入	81	124
投資有価証券の取得による支出	△300	△300
関係会社株式の取得による支出	-	△40,000
定期預金の預入による支出	△138,517	△63,450
定期預金の払戻による収入	442,723	447,044
その他	4,682	△6,245
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,905	△367,179
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	655,486	1,450,000
長期借入れによる収入	2,649,580	1,598,410
長期借入金の返済による支出	△2,086,709	△1,626,422
自己株式の増減額(△は増加)	△572	△219
配当金の支払額	△48,818	△82,132
その他	△155,329	△121,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,013,636	1,217,767
現金及び現金同等物に係る換算差額	204,367	△80,138
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,304,025	314,415
現金及び現金同等物の期首残高	2,773,951	3,981,533
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,077,977	4,295,949

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20—3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65—2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,378,114	2,162,096	1,535,992	5,162,380	13,238,583
セグメント間の内部売上高 又は振替高	589,432	—	78,819	94,074	762,326
計	4,967,546	2,162,096	1,614,812	5,256,454	14,000,909
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△9,027	△163,639	70,577	224,759	122,670

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	122,670
セグメント間取引消去	6,490
中間連結損益計算書の営業利益	129,160

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,458,324	2,550,192	1,618,506	5,210,558	13,837,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	521,394	—	26,450	126,822	674,667
計	4,979,718	2,550,192	1,644,957	5,337,381	14,512,250
セグメント利益又は セグメント損失(△)	55,006	△23,056	18,272	273,028	323,251

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	323,251
セグメント間取引消去	12,965
中間連結損益計算書の営業利益	336,217

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。